

社会資本総合整備計画（防災・安全社会資本整備交付金） 事後評価書

平成29年 2月 24日

計画の名称	福生市下水道総合計画の推進			
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）	交付対象	東京都福生市	
計画の目標				

下水道の老朽化に伴う事故の未然防止や下水道施設の点検、長寿命化計画の策定、改築等により、管渠、マンホール蓋、公共桝及び取付管の機能と安全性の向上を目標として、住民の安全を守る取組みとしての計画を促進する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ①整備済み区域における下水道長寿命化計画策定率について、0% (H24) から100% (H28) に増加させる。
- ②整備済み区域における下水道施設改築更新率について、0% (H24) から17.5% (H28) に増加させる。
- ③重要な管渠の地震対策計画策定率について、0% (H24) から15.1% (H28) に増加させる。
- ④重要な管渠の地震対策工事整備率について、0% (H24) から1% (H28) に増加させる。
- ⑤都市計画道路整備と連携した施工による管渠整備率を0%から100%に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

	当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考
	(H24当初)	(H26末)	(H28末)	
①整備済み区域における下水道長寿命化計画策定率 計画策定済みの面積 (ha) / 計画策定すべき面積 (ha)	0%	100%	100%	
②整備済み区域における下水道施設改築更新率 改築更新済みの面積 (ha) / 改築更新すべき面積 (ha)	0%	0%	17.5%	
③整備済み区域における下水道地震対策計画策定率 重要な管渠についての計画策定済み延長 (km) / 計画策定対象管渠の延長 (km)	0%	0%	15.1%	
④整備済み区域における下水道地震対策工事整備率 重要な管渠についての工事整備済み延長 (m) / 工事整備対象管渠の延長 (m)	0%	0%	1%	
⑤都市計画道路整備と連携した施工による管渠改築整備率 改築済み延長 (km) / 改築を実施すべき延長 (km)	0%	21.7%	100%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,073百万円	A	1,073百万円	B	—	C	—	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)
-------	--------------	----------	---	----------	---	---	---	---	---	---	-----------------------------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
数値目標の達成状況や事業効果を検証し、福生市外部監査委員による評価を平成29年2月に実施予定。	平成29年2月
	公表の方法
	市のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業者及び施設種 略種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
A1-1-1	下水道	一般	福生市	直接	福生市	—	下水道長寿命化計画策定（老朽管対策）	下水道長寿命化計画策定	福生市						98	
A1-1-2	下水道	一般	福生市	直接	福生市	—	改築 下水道長寿命化計画策定（老朽管対策）	汚水管 長寿命化対策（改築更新） φ250mm～800mm L= 5,558m	福生市						510	
A1-1-3	下水道	一般	福生市	直接	福生市	—	改築 総合地震対策（地震対策）	基礎調査・計画策定	福生市						72	
A1-1-4	下水道	一般	福生市	直接	福生市	—	改築 総合地震対策（地震対策）	耐震化工事	福生市						20	
A1-1-5	下水道	一般	福生市	直接	福生市	—	改築 公共下水道施設整備事業	汚水管整備 φ250 L=1,765m 雨水管整備 φ300～φ800 L=1,547m	福生市						373	
										合計					1,073	
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28			
										合計						
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28			
										合計						

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・下水道長寿命化詳細計画（第1期）の策定を行ったことにより、計画に沿った事業実施が可能となった。 ・下水道長寿命化詳細計画を基に、人孔蓋替工事を実施し、下水道施設の延命化や予防保全的な維持管理を行い、安心安全な市民生活の確保に寄与した。 ・総合地震計画の策定を行ったことにより、災害時に重要な管渠等を中心に下水道施設の機能確保と安全性の向上を図る指針が確立された。 ・総合地震計画対象路線の工事を実施したことにより、避難所流下の下水道管渠の耐震化を図ることができ、災害時における安心安全な市民生活の確保に寄与した。 ・工事を実施したことにより、老朽化した管渠の改築更新を効率的に行うことができ、下水道施設の機能確保が図れ、安心安全な市民生活の確保に寄与した。 				
II 定量的指標の達成状況	指標①（整備済み区域における下水道長寿命化計画策定率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	100.0%			
	指標②（整備済み区域における下水道施設改築更新率）	最終目標値	17.5%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	17.5%			
	指標③（整備済み区域における下水道地震対策計画策定率）	最終目標値	15.1%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	15.1%			
	指標④（整備済み区域における下水道地震対策工事整備率）	最終目標値	1.0%	目標値と実績値に差が出た要因		市単独事業において実施。
		最終実績値	1.0%			
	指標⑤（都市計画道路整備と連携した施工による管渠改築整備率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因		東京都の用地買収等が当初の予定通りに進まず、当初計画で予定していた箇所ので工事が行えなかったため。
		最終実績値	43.5%			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）						
3. 特記事項（今後の方針等）						
未完了の部分については、計画を精査したうえで、ストックマネジメント計画に移行し事業を実施していく。						